

赤十字国際ニュース

2020年 第21号 2020年6月2日
(通巻 第1378号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-3437-0785

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <http://www.jrc.or.jp/>

■産休サンキュープロジェクト ～生まれてきた赤ちゃんの初めての社会貢献～



マラウイの保育所の乳幼児（写真左）。学童保育でダンスをする児童と就学支援で文具を受け取る生徒（ナミビア右写真上、マラウイ右写真下）©IFRC

おぎゃー♪と日本で生まれる赤ちゃんとおアフリカで生まれる赤ちゃん。
それぞれかけがえのない人生がはじまった瞬間です。
身近な赤ちゃんの誕生をきっかけに、アフリカの支援をしてみませんか？

アフリカ地域では、衛生設備の不足や栄養不足、感染症の拡大など様々な困難から多くの子ども達が幼くして命を落としています。その率は世界平均の約2倍。アフリカの子ども達を守るためには、保健分野だけではなく貧困対策や教育といった様々な観点からの包括的な支援が不可欠です。日本赤十字社（以下、日赤）では、現地の赤十字社とともに人道ニーズに応える様々な取り組みを行っています。

産休サンキュープロジェクトは、出産をきっかけに家族と企業が一緒になって、アフリカの子どもやお母さんへの支援をしながら、日本での産休・育児の取得促進を応援するプロジェクトです。このプロジェクトを通じて賛同企業から寄せられたご支援は、日本赤十字社の活動を通してアフリカの多くの子ども達に未来への希望をお届けします。今号では、そんな産休サンキュープロジェクトをご紹介します。



産休サンキュープロジェクトのロゴ

■ 支援の対象 ～どこでどんな活動を支援できるの？～



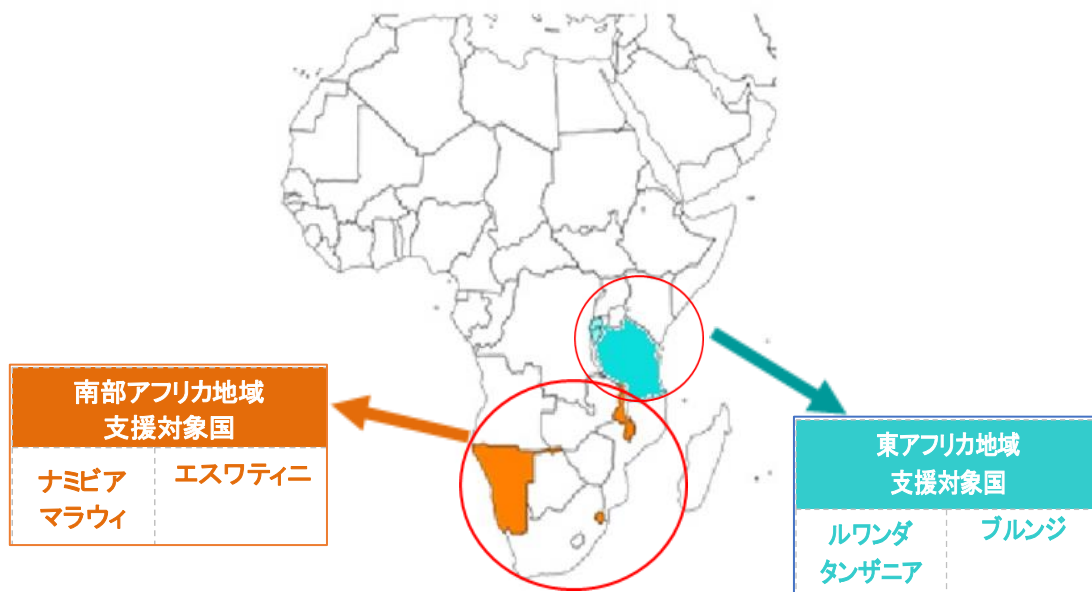
妊産婦検診、子どもの予防接種の様子©IFRC

産休サンキュープロジェクトが支援の対象としているのは、国際赤十字・赤新月社連盟を通じた東アフリカ地域の保健強化事業と南部アフリカ地域の感染症対策事業です。

東アフリカ地域では、保健や防災に関する啓発活動に力を入れ、南部アフリカ地域では、感染症の予防・治療、特に感染者や貧困層への貧困対策、脆弱な子どもへの就学・栄養支援などを中心に、地域のニーズに即した活動を行っています。

具体的な活動を地図と表でご紹介します。

<2020 年度に支援する国と活動>



	支援対象国	活動内容
東アフリカ	ルワンダ	アニメ映画とラジオ放送を通じた保健・防災の啓発活動
	ブルンジ	アニメ映画とラジオ放送を通じた保健・防災の啓発活動
	タンザニア	地域啓発活動に係る職員・ボランティアの能力強化/研修実施 地域からのフィードバック用の無料電話相談運営
南部アフリカ	ナミビア	キッズクラブ（学童保育）の運営、簡易住居の建設、 就学支援、衛生用品や毛布の送付、共同菜園の運営 HIV 感染者及び貧困層の家庭に対する家庭訪問と訪問看護
	エスワティニ	診療所の運営、HIV・結核の検査・カウンセリング・治療、 HIV・結核感染者に対する食糧支援
	マラウイ	保育所の運営、生計支援(家畜の供与)、HIV 感染者市民グループへの啓発活動

■ 支援の成果 ～こんなことに役立っています！～

2018 年度は、例えばこのような成果が得られました。

ブルンジ 保健や防災に関するアニメ映画を 10 州で上映し、参加した住民の数は **60,523 人** に及びました。またラジオ放送は、**全国にて放送** されました。その結果、住民の間で感染症の予防や水・衛生、栄養、防災・減災に関する**知識が高まり、適切な行動が身についた**ほか、風土に即した作物を育てて**所得の向上**に繋げる等、**生活の改善**に役立っています。



マラウイ 5 つの保育所にて、合計 1,279 人のエイズ孤児を含む乳幼児に昼食を提供しました。また、51 人の生徒に対して奨学金制度を適用し、文房具の支給や授業料の免除、家庭訪問を通じた心理的カウンセリングを実施しました。その結果、**欠席や中退を防ぐ**ことに繋がり、より多くの子ども達が**学業を継続**するようになりました。



ナミビア HIV感染者の家庭や貧困層など合計750世帯に対して、家庭訪問を実施し食糧を配給しました。その結果、栄養状態が改善したほか、空腹状態で薬を服用することが減少し、健康の促進にも繋がりました。



■ 支援のご報告 ～産休サンキュープロジェクトニュースレター～

産休サンキュープロジェクトでは、毎年4月と11月にニュースレターを発行し、賛同企業様に事業成果をご報告しています。2020年4月に発行されたニュースレター第14号では、今回明らかになったエスワティニ赤十字社と日赤との深い繋がりや、新型コロナウイルス(COVID-19)など今まさにアフリカ地域が直面してる課題と対応策、ルワンダの日赤駐在員からの報告など、盛りだくさんで紹介しています。是非ご一読ください。

[ニュースレター](#)は、日赤ホームページからご覧いただくことができます。



■ パートナー企業・団体、個人サポーターを募集中です！

日本赤十字社では、上記6カ国での事業に賛同してくださるパートナーシップ企業・団体及び[YahooJapan ネット募金](#)を通じた個人のみなさまからのご支援を募集中です。ご協力をいただいている企業様の中には、「社員が出産した赤ちゃんの人数に基づき寄付」、「特定の商品の売り上げの一部を寄付」など、様々なかたちでのご支援をいただいている例もあります。是非、お気軽にご相談ください。

“アフリカの活動への支援”と“社員の出産や育休の取得”を結び、日本の親子や企業・団体が一緒になってアフリカの人々をサポートする産休サンキュープロジェクト。ぜひ、「生まれてくる赤ちゃんの初めての社会貢献」として、赤十字の活動に参加しませんか？

<お問い合わせはこちら>

日本赤十字社 国際部 開発協力課 産休サンキュープロジェクト担当
電話:03-3438-3111 (代表) E-mail:sankyuthankyou@jrc.or.jp

日本赤十字社の新型コロナウイルス感染症に対する活動はこちら↓をご覧ください。

